

## 編集後記

毎月一回の編集会議をもちながら四年間、ようやく発刊に漕ぎつきました。

編集の基本方針については、房総史料調査会により整理された古文書の中から、人々のくらしを中心に、関係の深い文書に解説をつけて編集を進めることになりました。

古文書の目録から探し出してみたものの、難解な文字が多く、苦勞の連続でした。

四百年前、中富の人は整然と区画された二十町歩以上の畑を耕作していたことも驚きでしたが、川欠け、検見引、という水の被害による減免の文字が見られ、近隣との境界争いも川の流路の移り変わりによるもので、中富の歴史は水との闘いであったと言えます。水で難儀する貧しいこの土地に住みながら、どうやって多くの古文書を大切に保存出来たのだろうか。

初めて拝見した大般若波羅蜜多經典、六百巻も弘化元年（一八四四年）檀家の寄進したものであり、多くの貴重な文化財を改めて確認し、これからの保存管理をどうするか、委員一同、痛感した次第です。

自治会の皆さんには出征兵士の調査や墓石の屋号、家紋等のご協力を戴きありがとうございました。特に市史編纂室、前室長の新井孝男氏、編纂室の色部昭男氏ならびに房総史料調査会の方々にご指導戴きましたことを衷心より御礼を申し上げます。

編集委員会

平成十年三月

## 編集委員



写真右より

前列

齊藤 栄子  
榎本 治子  
石川 昭  
笠原 範子  
齊藤 寅雄

中列

齊藤 諒  
齊藤 汎  
齊藤 和彦  
齊藤 貞夫

後列

小西 正己  
齊藤 邦雄  
田村 高治  
田村 国雄

中富郷土誌

発行日 平成十年三月一日

編集発行 君津市中富郷土誌編集委員会

印刷製本 大和美術印刷株式会社

千葉県更津市潮浜二一一一〇  
電話 〇四三八(三六)一一一六



